

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第15回研修を開催しました！」

第15回の研修は、令和5年9月16日(土)に、雫石町御所公民館及び雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、新規就農を目指す方のための支援策についての講義と、実習では栽培野菜の管理等を行いました。

講義では、認定新規就農者及び認定農業者制度の概要や、取得することによって受けることができるメリットの説明がありました。

認定新規就農者の取得は、始めに目指すべき制度であり、認定を受ける市町村の基本構想に合っているか、就農計画が確実に実行できるかなどの要件が、取得へのポイントとなることを学びました。

また、農業研修などの農業技術の習得や、農機・施設等の購入資金に関する制度資金、農地の取得に関する農地中間管理事業などの目的

別の支援策についても学習しました。

就農支援は多岐にわたり、国や県、JA など、多くの機関がバックアップを行うため、資金・技術等の悩み事があれば、気軽に各関係機関に相談してほしい、とのアドバイスがありました。

実習はコテージむらの実習ほ場に移動し、始めに栽培野菜の観察を行いました。ブロッコリーの花蕾の肥大や、だいこんの根部の肥大など、秋野菜の成長を目の当たりにし、受講生は収穫への期待が一層膨らんだようでした。

併せて、トマトハウスの屋根面に掛けた寒冷紗の撤去、こまつなの間引き、ピーマン、トマトの収穫作業などを行いました。

次回の研修は、9月29日(金)、30日(土)、コテージむらで、外部講師をお招きして、病害虫・雑草総合管理(第2回)についての講義を行う予定です。



講義「新規就農を目指す方のための支援策」の様子



実習野菜を観察する様子



こまつなの間引きの様子



トマトハウスの寒冷紗の撤去の様子